

銀河レポート401

NO. 18
11月号

発行日：平成28年11月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

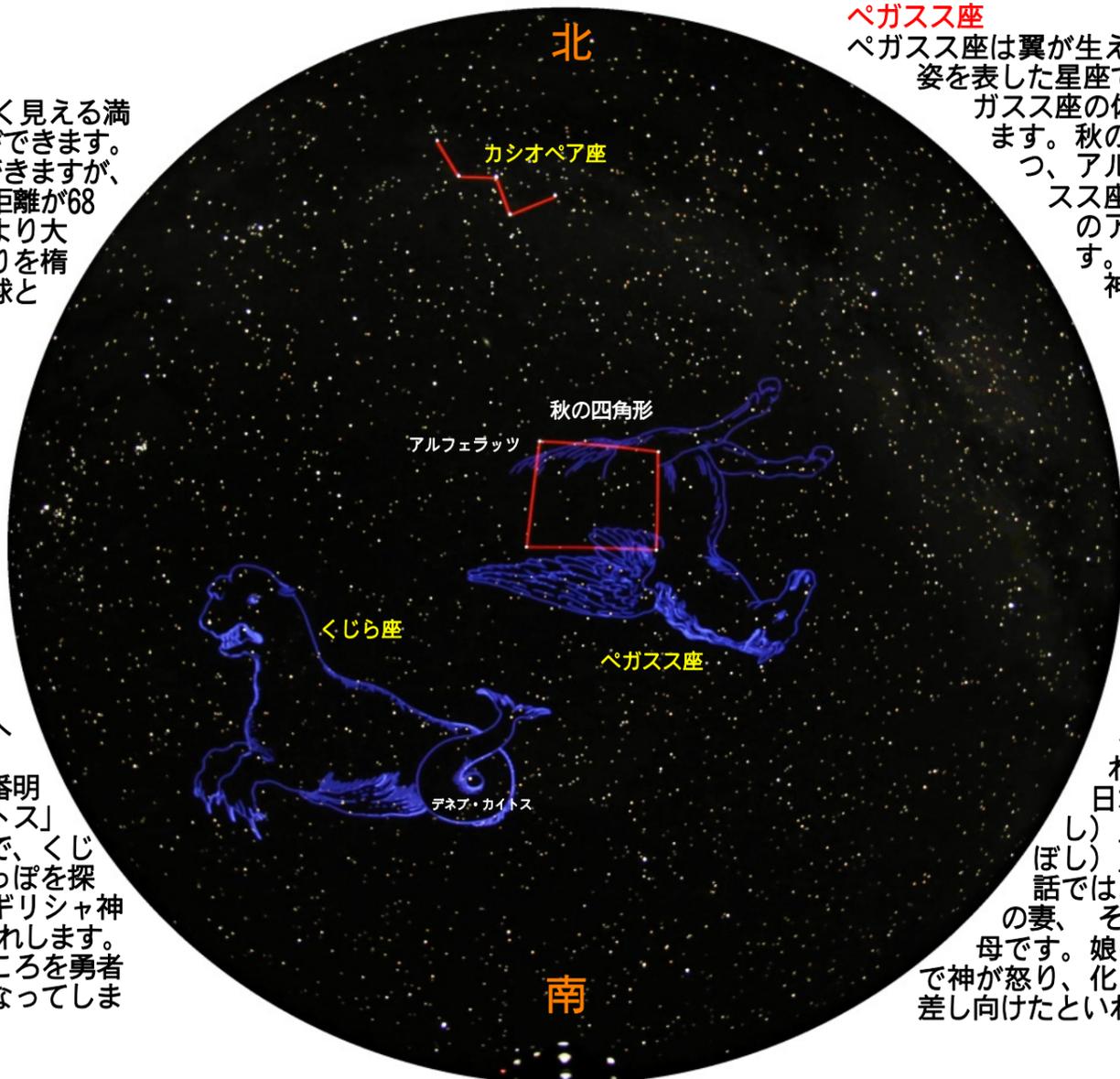
11月の星空

スーパームーン

11月14日は1年のうちで最も大きく見える満月「スーパームーン」を見ることができます。スーパームーンは毎年見ることができますが、今年のスーパームーンは地球との距離が68年ぶりの近さとなり、見かけ上、より大きな月になります。月は地球の周りを楕円軌道で回っているため、月と地球との距離は近づいたり遠ざかったりします。その最接近するタイミングと満月となるタイミングが近いと、月が大きく見えるというわけです。普段の満月よりも大きさが最大約14%大きく見え、明るさも約30%増します。次にこれだけ近づくのは2034年です。今年のスーパームーンを是非お楽しみください。

デネブ・カイトス

秋の四辺形の東側の辺を下(南)へのはすと、ポツンと2等星が一つだけ目立っています。くじら座で一番明るく輝いている星「デネブ・カイトス」です。くじらのしっぽという意味で、くじら座を探るときには、くじらのしっぽを探すとよいでしょう。くじら座は、ギリシャ神話では海の魔物として登場し、大暴れします。アンドロメダ姫を一飲みにするところを勇者ペルセウスに阻まれ、最後は石となってしまいました。



ペガサス座

ペガサス座は翼が生えた天馬(てんま)の姿を表した星座です。秋の四辺形がペガサス座の体の一部分になっています。秋の四辺形を作る星の一つ、アルフェラッツは、ペガサス座の星ではなく、お隣のアンドロメダ座の星です。ギリシャ神話では大神ゼウスの息子、勇者ペルセウスが怪物メデューサの首をはねたとき飛び散った血が近くの大きな岩にかかり、その岩からペガサスが飛び出したとされています。

カシオペア座

11月になると、北の空にカシオペア座が高く昇ってきます。カシオペアのWの星の並びはだれの目にもとまりやすく、日本では「錨星(いかりぼし)」や「山形星(やまがたぼし)」の名前があります。神話ではエチオピア王ケフェウスの妻、そして、アンドロメダ姫の母です。娘の美しさを自慢したことで神が怒り、化けクジラをエチオピアに差し向けたといわれています。

GINGA PORT401内で撮影

ありがとう！10万人！

10月1日(土)、リニューアルオープン(平成27年3月21日)からのプラネタリウム観覧者が10万人に到達しました。

10万人目のご家族には、ドーム内で記念品をお渡ししました。これからもたくさんの方にプラネタリウムにお越しいただけるように、努力していきます。



1億4000万個の星々が世界一に輝きました！

四日市市立博物館のプラネタリウム投映機「ケイロン401(よんまるいち)」が「最も多くの星を投映するプラネタリウム」として世界一に輝き、10月22日(土)にプラネタリウム内でセレモニーが行われました。

世界が認めた星空を是非体感してください。



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》

日時：11月26日(土)
時間：17時から18時30分
場所：市民公園
内容：秋の四辺形と金星を見よう
※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。

《天文ボランティア主催観望会》

日時：11月12日(土)
時間：19時から20時30分
場所：市民公園
内容：月と秋の四辺形を見よう
※きらら号は出勤しません。
※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。

11月の月

8日		上弦
14日		満月
21日		下弦
29日		新月

編集後記

11月7日は「立冬(りっとう)」です。「冬が始まる日」という意味があり、この日から暦の上では冬になります。鈴鹿山脈の御在所岳も紅葉が見ごろとなり、初雪の便りが聞こえてくる時期です。空気中の水蒸気が少ない秋は、空気が澄んで星がはっきりと夜空に映ります。夜はかなり冷え込むので、暖かい格好で秋の星空をお楽しみください。